

令和3年度 袋井市教育施設等3Rプロジェクト整備年表の更新について

1 更新内容

(1) 小中学校バリアフリー化事業の追加

令和5～9年度に小中学校の多機能トイレ、トイレ洋式化の整備を追加する。

■ 小中学校バリアフリー化事業費

(単位：千円)

整備内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	合計
多機能トイレ	60,000	60,000	60,000	0	0	180,000
トイレ洋式化	169,400	127,840	147,840	113,960	33,880	592,920
合計	229,400	187,840	207,840	113,960	33,880	772,920

※ エレベーター等については、要配慮児童生徒等の在学状況により検討する。

(2) ケーブル取替え工事の追加

電柱と建物等を繋ぐケーブルは目視での状態確認が難しく、老朽化により突発的な漏電や停電が発生する恐れがあるため、盤と併せて取替えることが望ましいことから、「盤」の工事単価にケーブルの取替え単価を追加する(3千円/m²⇒6千円/m²)。

(3) 工事实績の反映

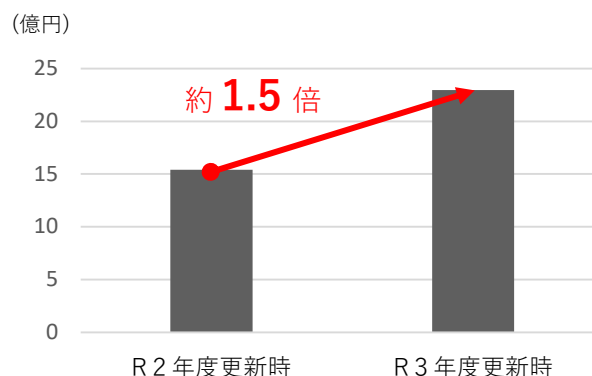
令和2年度までに完了した工事の事業費を反映する。

(4) 幼稚園2園の認定こども園化

令和3年度からの若草幼稚園、浅羽東幼稚園の認定こども園化に伴い、2園を保育所・こども園の区分に移行するとともに、名称を「若草こども園」、「浅羽東こども園」とする。

(5) 計画内総事業費の変更

(1)～(3)の変更に伴い、20年間の計画内総事業費が、昨年度更新時の1,539,993千円から757,648千円増加し、2,297,641千円となる(約1.5倍)。



■ 整備年表【時間計画型予防保全】の基本条件

- ①同一敷地内で建設年度が概ね同時期（3年以内）の棟は古いものに合わせて改修する。
 ②単価は目安であり、着工前に詳細な設計を行い精度の高いものを算出する。

◆凡例（保全手法・目標使用年数）

グループ	保全手法	目標使用年数（年）
A	時間計画型（40年目）＋状態監視型	80
B	状態監視型	60
C	状態監視型	40

◆凡例（整備内容・単価）

赤字：R2からの更新箇所

表示名称	整備内容	単価（千円/㎡）
受	受変電設備（該当する場合）	4,000～10,000千円/箇所
盤	分電盤、ケーブル	→⇒6
管	埋設給水管、ガス管	13
ポ	給水ポンプ（該当する場合）	3,000千円/箇所
解	解体（目標使用年数による）	32
多ト	多機能トイレ（小中学校のみ）	15,000千円/箇所
洋ト	トイレ洋式化（小中学校のみ）	1,500千円/基